

# 林 務 課

平成 30 年 5 月 31 日現在における平成 29 年度の予算及び事務事業の執行状況について、定期監査を実施したので、その結果について概要を述べる。

## 1 職員の配置状況

当課の職員は課長 1 人、林政係 4 人、鳥獣対策係 2 人の計 7 人である。  
このほかに、林政係に臨時職員 1 人が配置されている。

## 2 予算の執行状況

当課に係る歳入は、予算現額 1 億 8,393 万 3,000 円に対し、調定額 1 億 9,482 万 3,819 円、収入済額 1 億 8,922 万 3,819 円で、収入率は対予算 102.9%、対調定 97.1%となっている。

収入済額の内訳は、使用料及び手数料 43 万 270 円（電柱・電話柱敷地などの行政財産目的外使用料、林道占有料、鳥獣飼養許可証交付手数料）、国庫支出金 960 万円（山村活性化支援交付金）、県支出金 9,184 万 6,500 円（鹿児島県森林整備地域活動支援交付金、鳥獣被害対策実践事業補助金、林道舗装事業補助金、森林管理道開設事業補助金、特用林産物の産地づくり推進事業補助金）、財産収入 4,888 万 4,108 円（国有林分収造林立木代金ほか）、諸収入 834 万 2,941 円（台風災害に伴う森林保険金、かごしまエコファンドクレジット販売代金、森林総合研究所分収造林事業受託収入ほか）、市債 3,012 万円（林業債）である。

一方歳出は、職員の給与費を除く予算現額 2 億 1,666 万 5,000 円に対し、執行済額は 2 億 593 万 1,185 円で、執行率は 95.0%である。

執行済額の主なものは、次のとおりである。

### （1）市有林管理費

執行済額は 932 万 1,148 円で、役務費 680 万 6,166 円（市有林作業道不陸整正作業手数料 58 万 6,451 円、森林保険料 621 万 9,715 円）、負担金補助及び交付金 246 万 9,215 円（市有林経営委託負担金、県造林協会会費）などである。

### （2）公団造林管理費

執行済額は 699 万 2,800 円で、委託料 692 万 2,800 円（森林整備センター造林業務委託、森林整備センター作業道整備業務委託）などである。

### （3）農業振興費

執行済額は 70 万 2,000 円で、鳥獣害防止施設整備事業補助金である。

### （4）林業総務費

執行済額は 5,645 万 3,392 円で、報償費 2,341 万 3,600 円（有害鳥獣対策協議会出費及び有害鳥獣捕獲報償費、有害鳥獣緊急捕獲活動支援事業報償費ほか）、負担金補助及び交付金 3,288 万 8,523 円（鳥獣被害対策実践事業補助金、有害鳥獣処理施設運営補助金、始良・伊佐地域森林・林業活性化センタ

一負担金、伊佐農林高等学校農林技術科森林教育支援対策協議会補助金ほか)などである。

(5) 林業振興費

執行済額は3,106万2,371円で、需用費36万3,230円(消耗品費)、委託料952万9,216円(山村活性化交付金事業に係るモデル竹林の整備業務委託、竹林資源を利用した商品開発等業務委託、竹林資源利活用推進業務委託、県費単独補助治山事業 伊佐市大口山野字平川地区測量設計業務委託、森林土木積算システム保守業務委託)、使用料及び賃借料80万7,840円(森林土木積算システム一式賃借料、山村活性化交付金事業「タケノコ生産・竹工芸に係る先進地視察研修」バス借上げ料)、工事請負費310万円(県費単独補助治山事業伊佐市大口山野字平川地区)、負担金補助及び交付金1,664万1,653円(森林整備地域活動支援交付金、森林整備関係事業補助金、分収林分収交付金ほか)などである。

(6) 林道費

執行済額は9,684万8,216円で、役務費422万9,406円(林道補修作業手数料、側溝清掃・除草手数料、林道測量作業手数料ほか)、委託料79万4,918円(白木橋橋脚基礎調査業務委託、下手線測量設計業務委託、羽月西地区作業道補修測量設計業務委託)、工事請負費8,540万円(林道山ノ神線開設工事、西ノ山線舗装工事、三日月林道排水施設修繕工事、伊佐牧場林道舗装補修工事)、林道補修に伴う原材料費419万1,814円、負担金補助及び交付金25万2,930円(林道安全協会費、県治山林道協会負担金)、補償補填及び賠償金192万9,806円(山ノ神線開設工事に伴う電気通信線等移設工事補償費)などである。

(7) 農林施設災害復旧費

執行済額は455万1,258円で、役務費72万5,517円(排水施設災害復旧手数料ほか)、工事請負費279万円(迫尻線林道災害復旧工事、奥牟田線林道災害復旧工事)、道路補修等に伴う原材料費99万8,957円などである。

3 事務事業の執行状況

当年度に執行された事務事業は、次のとおりである。

事務事業名	執行済額(円)	事務事業の内容及びその効果
市有林管理事務事業	9,321,148	<p>【事業内容】 直営市有林の適切な維持管理を行うための事業である。市有林管理に精通した林業事業体に管理業務を委託し、山林火災等の補償のため森林保険に加入する。</p> <p>【事業効果】 林業事業体と密に連携を行うことで、森林の保全及び整備が図られた。</p>
水源林整備事業	6,992,800	<p>【事業内容】 市有林を森林総合研究所と分収林契約し、受託事業により経営を行う。</p> <p>【事業効果】 分収林の被害木整理、保育間伐を行うことで、森林整備が図られた。</p>

鳥獣害防止施設整備事業	702,000	<p>【事業内容】 イノシシやシカによる農林産物への被害を防止し、農業経営の安定化と農業者の自衛意識向上を推進するため、圃場に侵入防止柵を設置し整備を行うための市単独事業。 ・H29 電気柵等設置件数 8件 延べ7,200m</p> <p>【事業効果】 この事業によりイノシシ・シカによる農作物被害を減少することができた。</p>
有害鳥獣捕獲事業	15,444,869	<p>【事業内容】 農林産物への被害対策として、関係機関、各地区猟友会長及び鳥獣保護員で組織する「伊佐市有害鳥獣対策協議会」の運営を行い、適正な捕獲を推進し、予察指示により伊佐市全域にわたり捕獲事業を行う。 ・H29 シカ 1,717頭 イノシシ 303頭 他 646頭</p> <p>【事業効果】 シカ、イノシシの捕獲頭数が増え、被害防止の効果が図られた。</p>
鳥獣被害総合対策事業	40,122,523	<p>【事業内容】 有害鳥獣による被害の深刻化、広域化に対応し、捕獲、被害防除体制の確立や捕獲者・農林家の意識改革、捕獲後の獣肉の利活用など総合的な鳥獣対策を行う。 ・H29 ワイヤーマッシュ 6地区 延べ25,256m</p> <p>【事業効果】 電気柵設置により鳥獣被害防止が図られるとともに、シカ・イノシシの捕獲頭数が増え、捕獲したシカ・イノシシの利用も図られた。</p>
森林保全活性化団体負担事業	566,000	<p>【事業内容】 林業事業を全般的にしていく上で、各種協議会へ負担金を支払う。</p> <p>【事業効果】 会員相互の連携と事業の円滑な推進が図られた。</p>
森林活性化団体等育成補助事業	320,000	<p>【事業内容】 伊佐農林高校技術科の技術、技能講習等に関する活動を行う協議会を支援する。 ・H29 林業関係就業者数 1名</p> <p>【事業効果】 地域林業担い手育成と林業従事者を確保できた。</p>
森林整備地域活動支援交付事業	3,050,000	<p>【事業内容】 集約化による計画的な森林整備で林業の再生と、それを通じた森林の多目的機能を持続的に発揮させるため、集約化施業の取組に必要な活動を支援する。</p> <p>【事業効果】 森林経営計画作成の促進、施業集約化の促進が図られた。</p>
林業振興事業	13,363,098	<p>【事業内容】 森林施業の効率化のため、森林経営計画の作成を促進し、施業の集約化を図り、路網の改良活動を計画的に行うため、森林所有者届出制度の確実な執行を行う。</p> <p>【事業効果】 森林情報システムの活用により、森林経営計画の促進、施業の集約化が図られるとともに、計画的な森林整備を推進することができた。</p>

特用林産事業	9,934,907	<p>【事業内容】 森林や竹林において産出される特用林産物の生産振興を図り、特色ある産地づくりを推進する。</p> <p>【事業効果】 特用林産の生産向上が図られた。また、竹林資源を活用した取組では、竹林整備の推進や整備従事者の養成を行った。商品開発においては、燻竹等の製品化としての方向性も決まった。</p>
治山事業	4,714,366	<p>【事業内容】 自然災害により崩壊した林地で小規模崩壊地の復旧を図る。</p> <p>【事業効果】 治山施設の整備により、自然災害の予防、山林の公益的・多面的機能の維持が図られた。</p>
林道費一般	96,848,216	<p>【事業内容】 市内林道台帳登録路線(47路線、総延長 L=132,944m)の維持管理及び補修を行う。</p> <p>【事業効果】 林道の整備、補修を行う事により、交通の安全と林業振興を図ることができた。</p>
林道災害復旧事業	4,551,258	<p>【事業効果】 災害の生じた林道の復旧をする。</p> <p>【事業効果】 災害により被災した林道を復旧することにより、林道交通の安全確保ができた。</p>

#### 4 工事契約の執行状況

当年度における工事の執行状況は、次のとおりである。

補助単独の別	工事名	工事内容	契約金額(円)	契約の相手方	契約の方法	着工年月日	完工年月日
単独	29林工第1号 三日月林道排水 施設修繕工事	As 舗装工 A=160.4 m <sup>2</sup>	1,836,000 (変更分) 164,000 (合計) 2,000,000	㈱片平工 務店	指名 競争	H29.5.17	H29.7.31
補助	29林工第2号 森林管理道開設 事業(地方創生 道整備推進交付 金)山ノ神線	L=1,017.5m W=4.0m KW400 新設 L=839.4m As 舗装工 A=2,111.4 m <sup>2</sup>	49,680,000 (変更分) 320,000 (合計) 50,000,000	㈱中村	指名 競争	H29.8.2	H29.3.16
補助	29林工第3号 (幹線)林道舗 装事業(地方創 生道整備推進 交付金)西ノ山 線	L=888.8m W=4.0m 上層路盤工 A=3,972.2 m <sup>2</sup> As 舗装工 A=3,972.2 m <sup>2</sup>	29,916,000 (変更分) 84,000 (合計) 30,000,000	㈱富士建 設	指名 競争	H29.8.2	H29.11.14
単独	29林工第4号 伊佐牧場林道 舗装補修工事	上層路盤工 A=600.0 m <sup>2</sup> As 舗装工 A=600.0 m <sup>2</sup>	3,261,600 (変更分) 138,400 (合計) 3,400,000	成政建設 工業(有)	指名 競争	H29.8.9	H29.10.13

補助	29 林工第 5 号 県費単独補助 治山事業伊佐 市大口山野宇 平川地区	法切工 A=354.9 m <sup>3</sup> コンクリート土留工 L=16.0m L型トワ水路工 L=12.0m 筋工 L=91.7m 伏工 A=196.0 m <sup>2</sup>	7,992,000 (変更分) 8,000 (合計) 8,000,000 (H29 現年) 3,100,000 (H30 繰越) 4,900,000	(有)共同設 備工業	指名 競争	H29.11.1	(H30.5.31)
単独	29 林工第 6 号 迫尻線林道災 害復旧工事	L=17.0m W=4.0m As 舗装工 A=53.8 m <sup>2</sup> アスカーフ工 L=17.0m	1,080,000 (変更分) 50,000 (合計) 1,130,000	(有)丸光建 設	指名 競争	H30.1.24	H30.3.23
単独	29 林工第 7 号 奥牟田線林道 災害復旧工事	L=43.0m W=4.0m L型擁壁布設替 L=32.0m As 舗装工 A=133.5 m <sup>2</sup>	1,436,400 (変更分) 223,600 (合計) 1,660,000	(有)丸光建 設	指名 競争	H30.1.24	H30.3.23

## 5 委託契約の執行状況

当年度における主な委託の執行状況は、次のとおりである。

補助 単独 の別	業 務 名	契約金額 (円)	契 約 の 相 手 方	契 約 の 方 法	契 約 の 期 間
単独	29 林委第 2 号 竹林資源利活用推進業務委託	3,276,000 (変更分) 325,000 (合計) 3,601,000	特定非営利活 動法人森と木 の研究所	随意 契約	H29.7.31 ~H30.2.28
単独	29 林委第 3 号 竹林資源を利用した商品開発 等業務委託	2,916,000	地域のちから	随意 契約	H29.7.31 ~H30.2.28
補助	29 林委第 4 号 森林整備センター造林(保育間 伐)委託業務	1,576,800	伊佐森林組合	指名 競争	H29.10.16 ~H29.12.22
補助	29 林委第 5 号 森林整備センター造林(被害木 整理)委託業務	507,600	伊佐森林組合	指名 競争	H29.10.16 ~H29.11.24
補助	29 林委第 7 号 山村活性化交付金事業に係る モデル竹林の整備業務委託	2,412,600	竹林整備 「緑の会」	随意 契約	H29.11.24 ~H30.2.28
補助	29 林委第 8 号 平成 29 年度森林整備センター 作業道整備業務委託	4,838,400	伊佐森林組合	随意 契約	H30.1.15 ~H30.3.15

6 補助金等の支出状況

各種団体に支出された主な負担金や補助金等は、次のとおりである。

団体名	事業名	負担金・補助金等額(円)	事業内容及びその効果
伊佐森林組合	市有林管理事務事業	1,395,109	市有林整備負担金 (太郎ヶ迫・山神・西ノ山・関白陣) 市有林管理の長期経営契約を締結し、植林から収穫まで管理することとなっている。 (H29 施業実績) ・皆伐・搬出間伐・造林・下刈 ・獣害防護施設・その他 上記の事業の事業費から補助金を差し引いた市の負担額。
(有)西林業	市有林管理事務事業	1,064,106	市有林整備負担金 (奥牟田中野・寺宇都・平野) 市有林管理の長期経営契約を締結し、植林から収穫まで管理することとなっている。 (H29 施業実績) ・下刈・獣害防護施設・被害木整理 ・境界巡視・その他 上記の事業の事業費から補助金を差し引いた市の負担額。
始良・伊佐地域森林・林業活性化センター	森林保全活性化団体負担金事業	503,000	地域内の低コスト林業の推進、素材の安定供給、林業事業体の組織化、林業労働力の安定確保、木材の加工・流通体制の整備、木材の需要拡大、緑化の推進、特用林産物の振興及び森林の保全整備等を総合的に推進し、多様な豊かな森林の整備と林業生産活動の活性化を図るための負担金。
鹿児島県森林整備公社	森林整備地域活動支援交付金事業	1,050,000	森林所有者等による施行の実施に不可欠な地域活動を支援するための交付金事業。 (国1/2・県1/4・市1/4)
伊佐森林組合	森林整備地域活動支援交付金事業	2,000,000	森林所有者等による施行の実施に不可欠な地域活動を支援するための交付金事業。 (国1/2・県1/4・市1/4)
田原共有林管理会	林業振興事業	3,612,546	国有林分収造林立木代金 田原共有林管理会分 3,802,680円×95%=3,612,546円
一般社団法人鹿児島県治山林道協会	林道費一般	232,930	市内47路線の林道台帳管理システム負担金及び治山林道協会負担金。
左近充諭 外7件	鳥獣害防止施設整備事業	702,000	イノシシやシカによる農林産物の被害を防止するため、電気柵を設置し整備する市単独事業の補助金。
伊佐市有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害総合対策事業	919,000	有害鳥獣の捕獲後の処理を速やかに行い、地域資源としての活用の促進を図る伊佐市有害鳥獣処理施設への運営補助金。

伊佐市有害鳥獣対策協議会	鳥獣被害総合対策事業	31,083,523	野生鳥獣による被害の深刻化、広域化に対応し、地域全体での被害防止活動や侵入防止柵の整備等の鳥獣被害防止対策を総合的に行うための補助金。
鹿児島県立伊佐農林高等学校農林技術科森林教育支援対策協議会	森林活性化団体等育成補助事業	320,000	伊佐農林高校農林技術科の技能講習等に関する活動を行う協議会へ支援を行い地域林業担い手の育成と林業従事者の確保を図る。
伊佐森林組合外2事業体	市単除間伐推進事業	9,024,867	市内における森林整備（除間伐、再造林、鳥獣被害防止柵の設置、下刈、作業道の作設等）を促進するため、森林整備等に係る事業に要する経費の助成を行うための補助金。（私有林のみ） 伊佐森林組合 6,807,517 円 伊佐愛林(有) 1,791,350 円 (株)迫田興産 426,000 円
菱刈木材工業(株)	竹林資源活用推進事業	600,240	市内の森林（竹林）から出荷されたパルプ用竹材の買取費用に助成を行い、特色ある産地づくりを推進する。
伊佐枝物生産組合	特用林産物の産地づくり推進事業	282,000	初期投資の大きいサカキの植栽について支援を行い、新たな地域ブランドの形成を推進する。

## 7 財産の管理状況

### 市有林面積

単位：ha

区分	直営	官行	県行	公社	公団	国有林分収林	学校・集落分収林ほか	計
面積	1,203.91	58.68	106.05	7.00	227.40	426.85	62.21	2,092.10

当課所管の土地は、おおむね良好に管理されていることを認めた。

## 8 現地監査について

伊佐市有害鳥獣処理施設用地については、良好に管理されていることを認めた。  
また、森林管理道開設事業（山ノ神線）、林道舗装事業（西ノ山線）、伊佐牧場林道舗装補修工事、奥牟田線林道災害復旧工事について現地監査を実施したが、いずれも良好に施工、管理されていることを認めた。

## 9 その他

当課が整備保管すべき財務に関する諸帳簿類は、おおむね良好に整備されていることを認めた。